

令和6年度 農林水産部組織目標

組織名	農林水産部	部長	三阪 史也
組織の目的・方向性	農業生産基盤の整備・保全と生産体制の強化、販売力の向上を通じて、「儲かる農業」を実現し、持続可能な農林水産業を目指します。新潟市の豊富な「食」と「農」の地域資源を最大限活用し、食、花に市民が触れ合う機会を拡大し、地域への誇りと愛着を育みます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※	農業産出額推計値 新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

農林水産部組織目標

農林水産部では、新潟市総合計画 2030 に基づき、若者に選ばれ、農業、農村が元気になる「儲かる農業」を展開するため、売れる米づくりと園芸産地づくりを推進し、農林水産業を活かしたまちづくりに取り組みます。

重点目標

- 1 農地の大区画化や汎用化を図り、高収益作物の導入を可能とするほ場整備の取り組みを推進します。
- 2 意欲ある担い手への農地の集積・集約化を効果的に推進し、生産性の向上を図るとともに、スケールメリットを活かした農業経営が展開できるよう取り組みを進めます。
- 3 生産技術の課題解決や農産物の生産に対する支援により、園芸産地づくりを進めます。また多様な米づくりと複合営農を推進します。
- 4 地域一体となって園芸作物の販路拡大やターゲット層に合わせ、時代に対応した販売促進に取り組みます。
- 5 食と花、食文化の魅力を発信し、多くの人々がその魅力に触れられる機会を提供することによって、食と花の販路の拡大及び都市と農村の交流を推進し、農林水産業の振興と豊かな市民生活の実現を図ります。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	1
取組結果	重点目標 1 （農村整備・水産振興課 組織目標No.1 一部未達成） ・ほ場整備率は前年度から向上したものの、資材費高騰に伴う工事費の上昇などにより、整備が進まず目標の数値には至りませんでした。 重点目標 2 （農林政策課 組織目標No.1 一部未達成） ・認定農業者等への農地集積率は、(地域計画の策定過程で話し合いを行いました)が、) 肥料や資材費の高騰など厳しい農業環境等の要因により、目標達成には至りませんでした。 重点目標 3 （農林政策課 組織目標No.3 一部未達成） ・園芸産地の強化に向けた取り組みにより、産地の園芸生産を後押しし、園芸産				

	地の販売額は前年度から増加しました。 重点目標 4 （食と花の推進課 組織目標No.1 達成） ・関係団体と年間の販売促進計画を共有することで、計画的に事業展開を行い、市産農産物のプロモーションを実施しました。 重点目標 5 （食と花の推進課 組織目標No.3 未達成） ・食文化創造都市プロジェクトの継続性や将来的な自走を念頭に審査した結果、採択件数は目標未達だったものの、自走による継続が見込める事業が増加しました。
今後の方向性	重点目標 1 ・農業競争力の強化と複合営農に向けた、農地の大区画化や水田の汎用化を推進するとともに、地域の要望に応じたきめ細やかな整備を計画的に進めます。 重点目標 2 ・集積地域の更新や地域との話し合いを推進し、未来へつなぐ地域農業支援事業を有効に活用して農地の集積、集約化を進めます。 重点目標 3 ・需要に応じた多様な米生産の取り組みを進めるとともに、麦大豆の生産支援を通じて水田活用を進めます。また、園芸作物への転換など複合営農と園芸産地の強化を図っていきます。 重点目標 4 ・販売戦略会議で、J Aなど関係者と新たな販路を検討していくほか、市場関係者へのインパクトを考え、引き続きトップセールスを実施していきます。 重点目標 5 ・活動の継続や自立運営が期待できる、食や食文化の普及に効果的な事業を支援していき、多くの人が新潟の食や食文化の魅力に触れる機会を増やしていきます。